高Ｐ連会報

発行者　宮城県高等学校ＰＴＡ連合会
仙台市宮城野区幸町４－５－１
宮城県青年会館内
TEL・FAX　022－299－4621
E-mail：miyagikopren@ia2.itkeeper.ne.jp
印　刷　創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町８－34
TEL　022－222－0181
発行日　令和元年7月18日（水）

2019（令和元）年度宮城県高Ｐ連総会開催

令和元年６月６日、パレスへいあんを会場に宮城県教育委員会教育次長千葉章様、宮城県高等学校長協会会長小林裕介様をはじめ多くのご来賓を迎え、２０１９（令和元）年度総会が開催されました。

総会では、今年度から役員ではなく一般の単Ｐの会長に議長をお願いすることになり、泉館山高の菅原好秀会長が務めました。協議内容は次頁のとおりですが、令和元年度の役員が承認され県連会長に鎌田美千子氏（仙台高会長）が就任しました。また、仙台育英学園父母教師会の加盟が承認されました。

協議終了後には、各単Ｐから推薦された７０名の方々が表彰されました。受賞者の皆様の御功績に心より感謝申し上げます。

県高Ｐ連会長　あいさつ　『宮城県の高校生のために』

鎌　田　美千子

令和元年度、宮城県高等学校ＰＴＡ連合会会長をつとめさせていただきます仙台市立仙台高等学校父母教師会会長の鎌田美千子と申します。役員、事務局の皆様と力を合わせて、令和という新しい時代に合った活動をしていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

高校の３年間は、大人へと成長するためにとても大切な時です。勉強、人とのかかわり方、物事に対する考え方、自分自身と向き合うことなど、身につけるべきこと、学ぶべきことが多くあります。

私たちは、子どもたちのためにできることは何なのかを探り、今の時代の課題について検討し、学ぶ必要があります。また、子どもたちのために、私たち大人が元気であることが大切です。

宮城県高Ｐ連では、「みやぎ高校ＰＴＡフェスティバル」や各種研修会などを行って、各学校のＰＴＡ会員と昨今の高校生の課題について話し合い、交流する機会があります。

他校のＰＴＡの皆さんとお会いする機会は、とても貴重な時間です。子どもたちのことやＰＴＡ活動について、同じようなことで戸惑っていることがわかり、新たなヒントをいただけることがあります。会話がはずみ元気ももらえます。各種研修会などには多くの会員の皆様にご参加いただき、有意義な時間を過ごしていただきたいと思います。

今年度から仙台育英学園高等学校が加入し、８１校で活動します。子どもたちを支える仲間が増えるのは嬉しいことです。仲間とともに学び、会員一人一人ができることを地道に活動し、私たち自身も成長していきたいものです。

令和の時代も宮城県のＰＴＡの皆様とともに、未来ある子どもたちを健やかに育んでまいりたいと存じます。子どもたちが生き生きと幸せな毎日を過ごせますようにご協力をお願いいたします。

令和元年度が皆様にとりましてすばらしい年でありますように心からお祈りいたします。

総会での主な協議内容

- 平成 30 年度の事業、会計報告
- 仙台育英学園父母教師会の加盟
- 令和元年度の活動方針、事業、予算（今年度から支部助成３０万）
- 東京都公立高等学校ＰＴＡ連合会からの義援金（フェスティバル費用の一部）
- 令和元年度の役員
- 優良ＰＴＡ文部科学大臣表彰、全国・東北地区高Ｐ連表彰候補の推薦

2019（令和元）年度役員

役職名	氏名	所属校
会長	鎌田 美千子	仙台
副会長	富田 ゆかり	仙台西
〃	三條 浩道	名取
〃	新本 和也	松山
〃	髙橋 賢	石巻工業
〃	永浦 勝弘	佐沼
監事	菅原 好秀	泉館山
〃	大槻 信一	角田
〃	甲谷 泰成	石巻商業
理事（仙塩）	☆中野 愛弥	仙台第三
〃	☆髙寺 徹	仙台商業
〃	☆佐藤 理	塩釜
〃	本田 信一郎	仙台第一
〃	鈴木 健太郎	仙台二華
〃	畠山 明	仙台向山
〃	川村 博子	仙台大志
理事（仙南）	一條 一平	白石
〃	澁谷 俊憲	白石工業
〃	樋口 一也	亘理
理事（大崎）	☆渡邊 由里子	鹿島台商業
〃	加藤 雄一	古川
〃	西海土 久美子	南郷
理事（石巻）	☆及川 裕子	東松島
〃	遠藤 宏昭	石巻西
〃	雁部 仁恵	石巻
理事（県北）	☆佐藤 政広	登米総合
〃	小澤 大助	迫桜
〃	前田 貴志	気仙沼向洋
県連顧問	佐藤 泰伸	前会長
〃	町田 尚彦	仙台校長

☆印は常任理事

委員会	健全育成	進路対策	調査広報
仙塩支部	仙台大志 川村 博子	○仙台第二 佐藤 哲也	◎仙台二華 鈴木 健太郎
仙南支部	亘理 樋口 一也	白石 一條 一平	○白石工業 澁谷 俊憲
大崎支部	南郷 西海土 久美子	古川 加藤 雄一	岩出山 齋藤 満
石巻支部	◎石巻好文館 葛岡 雅之	石巻桜坂 遠藤 知紗	東松島 及川 裕子
県北支部	○気仙沼向洋 前田 貴志	◎築館 菅原 正広	登米 秋葉 加織

◎は委員長、○は副委員長

事務局長研修会担当校	仙台商業高

東北大会発表校	宮城野高校

支部事務局長

仙塩	齋藤 つとむ	仙台西
仙南	角田 泰幸	名取
大崎	井崎 英滋	松山
石巻	岩佐 由之	石巻工業
県北	熊谷 圭一郎	佐沼

県連事務局

事務局長	三塚 明彦	専任
書記・会計	関谷 芳朗	専任
事務局次長	長嶺 秀久	仙台
書記	佐々木 秀男	仙台
書記	伊藤 隆	仙台
書記	髙橋 直美	仙台

『一期一会の出会い』

平成 30 年度県高Ｐ連会長　佐藤泰伸

平成最後の年に、宮城県高等学校 PTA 連合会会長職を全うさせていただきました、元仙台市立仙台高等学校父母教師会会長の佐藤泰伸です。この１年は、今までに出会うことの無いたくさんの人と出会い、様々な刺激を受け充実した年を過ごさせていただきました。これもひとえに県内高校 PTA 会員の皆様､役員の皆様のご支援･ご協力の賜と感謝申し上げます。

将来を担う宮城県内高校生の充実した学校生活を、PTA がしっかりとスクラムを組み、支えていくことが我々の使命と考えて、今後ともより一層の活躍を期待いたします。

最後に、活動の支援をサポートしていただきました県連事務局長三塚様、関谷様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。合掌

はじめての単Ｐ会長研修会

宮城県高Ｐ連として、はじめて単Ｐの会長を対象とした研修会を令和元年 5 月 17 日（金）15：00 ～にホテル白萩で開催しました。約 50 名の会長と前年度の会長または事務局の先生方総勢 72 名が参加し、充実した研修会になりました。また、研修会終了後に情報交換会が開催され、和やかに情報共有を図ることができました。研修会の内容は次のとおりです。

研修１　「これからのＰＴＡ活動」
宮城県教育委員会　生涯学習課協働教育班
社会教育主事　課長補佐　山下　正人　氏

研修２
「宮城県高等学校ＰＴＡ連合会について」
宮城県高等学校ＰＴＡ連合会
事務局長　三塚　明彦

研修３　「経験談」
- 仙台西高　富田　ゆかり　会長
- 石巻商業高　及川　剛　会長
- 岩ヶ崎高　阿部　豊喜　会長
- 仙台三高　菅田　さおり　会長
- 仙台商業高　畠　朋枝　会長

2022 年（令和４年）全国高Ｐ連大会
― 正式に宮城県に開催依頼 ―

令和元年 6 月 22 日（土）東京ガーデンパレスで開催された令和元年度全国高等学校ＰＴＡ連合会定時総会において、牧田和樹全国高Ｐ連会長から令和 4 年に宮城県で全国高Ｐ連大会を開催するよう依頼がありました。この依頼に対し、鎌田美千子宮城県高Ｐ連会長が宮城県での開催を快く引き受ける旨の挨拶を行いました。

委員会の活動はじまる

6 月 11 日（火）、福島市で開催された東北地区高Ｐ連総会の折、宮城県の各委員会の委員長が出席し、東北地区の第１回各委員会が開催されました。

その委員会での方針を受け、6 月 18 日（火）13：30 から仙台ガーデンパレスで今年度の各委員会（健全育成、進路対策、調査広報）合同会議が開催されました。会議では、昨年度の活動や申送り事項などを確認し、令和元年度の活動計画が話し合われました。委員の皆様には多大なご負担をお掛けしますがよろしくお願いします。

山形大会に宮城県から244名参加

「子どもたちの自立を支え、家庭・学校・地域が一体となった地域創生を目指すＰＴＡ活動」のテーマのもと、令和元年７月５日（金）、山形市総合スポーツセンターを会場に開催されました。前日の４日には、ホテルメトロポリタン山形で情報交換会が盛大に行われ、山形県高Ｐ連の方々から心温まる歓迎を受けました。

開会行事では、宮城県からは８名の方々（別掲）と広報紙コンクール（別掲）の表彰が行われました。また、午前中の研究協議では宮城野高校からアイデア溢れる発表がなされ、参加者から高い評価を得ました。

午後からは、講師に陰山英男氏を迎え「常識を破って子どもを伸ばそう」と題して講演会が行われ、大変興味深いお話でした。

東北地区高Ｐ連表彰者および広報紙コンクール表彰校

おめでとうございます！

【表彰状】
目黒　大輔（角田）
五十嵐　亮（古川黎明）
及川　　剛（石巻商）
阿部　豊喜（岩ヶ崎）

【感謝状】
佐藤　泰伸（仙台）
本郷　輝朗（古川工）
髙城　裕行（石巻）
小山　茂樹（気仙沼）

【広報紙コンクール】
最優秀賞　気仙沼高
優秀賞　　古川黎明高
優良賞　　迫桜高

編／集／後／記

令和の時代が始まりましたが、若者が希望を持って生きていける時代になるのでしょうか。世界情勢は、米中の貿易戦争、米とイランの対立など戦争に発展するのではないかという不安、国内では年金問題や自然災害など多くの不安を抱えています。子どもたちに平和や政治に興味関心を持たせるのも親の務め、親子共々社会を見つめる目を持ちたいものです。